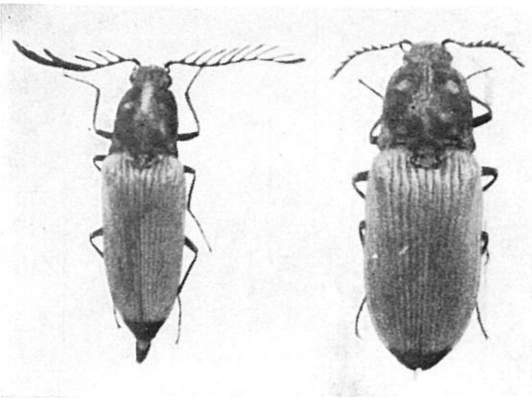
稿 KŌCHŪ 虫

ツマグロヒラタコメツキ♂の採集例

下山　健作

ツマグロヒラタコメツキ *Anostirus castaneus japonicus* KISHII et OHIRA の♂は日本では採集例を聞かないようなので，筆者の手元にある記録を発表しておく。



ツマグロヒラタコメツキ(左：♂，右：♀)

2♂♂，青森県南津軽郡平賀町矢捨山，2．V．1975，佐藤明採集

道路脇のミズナラやケヤキの新芽に午前10時から午後2時頃までの間飛来した個体とのことで，同時に♀も採集されたという。

末筆ながら，貴重な標本を恵与された佐藤明氏および色々とご教示下さった馬場金太郎，中条道夫，大平仁夫の諸先生に厚くお礼申し上げたい。

(〒036-01 南津軽郡平賀町大字柏木町字藤山34-35)

石垣島未記録のコブハムシ

今坂　正一

屋久島から沖縄本島までの南西諸島からは，従来，ヤクシマコブハムシ *Chlamisus yakushimanus*（四国，屋久島，沖縄本島），ハバビロコブハムシ *C. japonicus*（本州，九州，屋久島，奄美大島），アマミコブハムシ *C. geniculatus*（屋久島，種子島，奄美大島，徳之島，沖縄本島）の3種の *Chlamisus*（コブハムシ属）が知られていたが，石垣島を含む先島諸島からはこの属の種の記録はなかった。

筆者は次の2種を石垣島より確認したので，ここに記録しておく。貴重な標本を恵与された多比良嘉信，酒井案理，山地治の3氏に心よりお礼申し上げたい。

1. ヤクシマコブハムシ（写真左）

Chlamisus yakushimanus OHNO

1 ex.，石垣島オモト岳，1．Ⅳ．1974，多比良採集

屋久島産の個体より記載された種で，コブハムシ類中では例外的に表面の凹凸が少なく，前胸中央に縦溝があるため他種との区別はたやすい。筆者は石垣島以外で得られた本種を見ていないが，原記載を見るかぎりでは石垣島産の個体は前胸および上翅の隆起がより強く点刻も大きく密である点などで，他産地の個体とは区別できそうである。

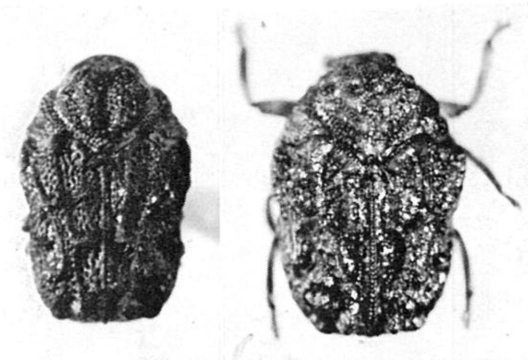
2. ハバビロコブハムシ（写真右）

C. japonicus（JACOBY）

1 ex.，石垣島オモト岳，5．Ⅳ．1973，酒井採集

3 exs.，石垣島オモト岳，7．Ⅳ．1974，山地採集

本種は本州から奄美大島まで産し，シイ類の生葉で採集される。石垣島産の個体は本土産の個体より，大きく色は明るく（赤褐色），尾節板の形態にも差異が認められる。



左：ヤクシマコブハムシ　右：ハバビロコブハムシ

上記2種は，詳細に調べれば将来別亜種として区別されるべきものかもしれないが，今回は分布の記録にとどめておくことにしたい。

1. S. KIMOTO (1964): Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ., **13**(1): 141-164.
2. S. KIMOTO & L. GRESSITT (1966): Pacific Insects, **8**(2): 467-577.

(〒855 島原市白土町1064)

埼玉県でケブカヒラタカミキリを採集

平井　　勇

ケブカヒラタカミキリ *Nothorhina punctata* (FABRI-

cius) を埼玉県の平野部で採集した。埼玉県初記録と思われるので報告しておく。

4♂♂2♀♀，埼玉県入間市仏子，12. Ⅷ. 1978

1♂1♀，埼玉県入間市仏子，13. Ⅷ. 1978

8月13日には，他に死個体1頭と蛹を1蛹採集した。

これらの個体は，道路脇に切り倒されていたアカマツ（根元部の直径40cm位のもの）より採集したもので，樹皮の辺材部に近い部分は多数のキクイムシ類に食われており，ケブカヒラタは樹皮の中央部を食い蛹室も中央部に作られていた。

この材の切口からは松ヤニが出ていなかったため，すでに立枯れとなった状態で切り倒されたものと想像された。

（〒359 所沢市狭山ヶ丘1-3002-11）

兵庫県でケブカマルクビカミキリを採集

三木　進



ケブカマルクビカミキリ *Atimia okayamensis* HAYASHI は，これまで岡山，長野，広島県下で採集されていたが，筆者をはじめ兵庫昆虫同好会々員は，兵庫県下にて本種を採集したので報告しておく。

2♂♂1♀，兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘，1. Ⅳ. 1979，三木進採集

1♂，兵庫県三木市別所町興治，3. Ⅳ. 1979，小倉滋採集

1♂，兵庫県三木市別所町朝日ヶ丘，15. Ⅳ. 1979，遠山雅夫採集

兵庫県南部にはネズミサシの生えた100〜200mの丘陵地帯が広がり，住宅開発が進んでいる。ケブカマルクビカミキリが岡山・広島県下でネズミサシのビーティングで採れていることから，ネズミサシの老衰木の多い三木市郊外を調査し上記個体を得た。本種は幹がまっすぐ上に伸びた健常木からは見出されず，いずれも道路際などの，地を這うようなひねた木の直径2〜3cm ほどの枝部分から落ちた。1本の木から複数個体は得られず，4月初旬から中〜下旬にかけて，夜間・雨中なども含めて集中的に採集を試みたが5頭しか発見できなかった。また，ツツジ類が開花していたが，花上には見られなかった。



三木市別所町朝日ヶ丘の丘陵地



最初の1♂が落ちた横枝

参考文献

1. 川田一之（1975）：ケブカマルクビカミキリを長野県戸台で採集，ELYTRA，**2**(2).
2. 黒田祐一（1974）：ケブカマルクビカミキリ，昆虫と自然，**9**(8).
3. 山本漢次（1978）：広島県でケブカマルクビカミキリを採集，ELYTRA，**6**(1).

（〒655 神戸市垂水区多聞台2-13-8-303）

香川県でマルクビケマダラカミキリを採集

山地　治

マルクビケマダラカミキリ *Trichoferus campestris*